

オオハンゴンソウ駆除活動記録

(記入者) 齋藤

活動日時	年月日		曜日	時間	天候
	2023年7月16日		日曜日	10:00~12:00	晴れ
活動内容	会議	作業： ボランティア41名の方と3箇所に分かれて駆除活動（主に刈り取り、河原は伐根）		その他： 午後は早稲谷の自然観察会 48名参加	
活動場所	①花背八柵市民農園横、②花背八柵市民農園横河原③花背原地鞍馬街道沿い大堰川のり面				
参加者名(所属)	花背地域8名(内子供5人)	友の会、他15名	市民の方12名		
	京都府・市13名	noi-Kyoto21名		合計69名	
活動報告	オオハンゴンソウの駆除活動に参加することで多くの人に特定外来生物であることを知ってもらうことと花背が自然豊かであることを知ってもらうことを目的に実施。告知として京都府ポータルサイトに登録。友の会会員にはがきの送付。京都市市民活動センターのボランティアの募集の登録。京都産業大学ボランティアセンター登録。京都府・京都市・きょうと生物多様性センターの後援をいただきチラシの配架でボランティアを募った。新聞3社（京都新聞、毎日新聞、京都民報）に募集記事が掲載された。日程は地域の行事との兼ね合いとオオハンゴンソウの開花時期も考慮に入れて7月16日（日）に実施。国際会館からチャーターバスと自家用車で花背山村交流の森集合。地域、京都府、市、一般、友の会、noi-Kyotoの方たちと3か所に分かれて駆除活動。 （駆除活動実施の場所は繁茂阻止を優先、達成感ある場所とした）花背原地町鞍馬街道沿い（2段階刈り取り）市民農園横（草刈り機使用）市民農園横河原（八柵町）（河原は伐根、他は刈り取り）約1時間30分作業。昼食後、バスと自家用車で広河原早稲谷の林道で自然観察会を実施した。刈り取って花がついているものと根茎はゴミ袋に入れて各家庭ごみに出した。（約0.2t）オオハンゴンソウの花の黄色が目立つ頃に釣りをする人に駆除や見かけたら知らせてもらえるチラシを漁協に配布。地域の人や街道を通る人にオオハンゴンソウのことを知ってもらうための立て看板の更新。（ヤエザキオオハンゴンソウも特定外来生物であることを告知）オオハンゴンソウ駆除活動を知ってもらうためののぼり旗を立てた。				
活動の成果	京都府・市の協力を得てボランティアの方をたくさん迎えることができた。昨年取材をしてくださった新聞社が募集記事を掲載。新聞からの参加者もあった。繁茂範囲が広く全部刈り取ることはできませんでしたが、参加者にオオハンゴンソウ駆除活動のことを知っていただけたとともに、観察会を通して花背が自然豊かでなぜ希少種が多くあるのかを知っていただけた。駆除の必要性を感じていただけた。作業は原地町、八柵町ともに駆除指定面積の2/3駆除作業ができた。ゴミ45L×44個（約0.2t）各家庭ごみとして持ち帰った。				
今後の課題	リピーターの方が少ないこと。毎回の募集に苦慮している。学生、地元の小学生にも地域のことを知ってもらうためにも参加を促したい。一般ボランティアの暑い時期になるので、長時間作業ができない。駆除の時に取材をしていただきたい。				
備考	配布：スポーツドリンク、お茶。早稲谷観察路の地図、花背の希少植物と伐根地区の在来植物の写真 京都府環境保全課よりフィールドノートの提供をいただきました。				
 市民農園横 刈り取り前↑ 刈り取り後↓   市民農園横河原  刈り取り、伐根風景と駆除後   原地、鞍馬街道沿い大堰川のり面  市民農園横の駆除ゴミ 花、種、根（2段階刈り取り、茎はその場に放置）  作業中ののぼり旗10ヵ所設置  開会式  駆除作業参加の皆さん成果とともに 					